

地域おこし協力隊活動レポートVol.2

市では、平成28年度から「新しい人の流れをつくり、まちの魅力を広く発信する」ために、地域おこし協力隊が活躍しています。

☎ 企画課地方創生推進室（本庁4階） ☎ 24-2197

交流を楽しみながらのおもてなし

●得意の鉄道を通じて

私は、自分の趣味や得意としている鉄道を通じて、昨年の12月から地域おこしをしています。

主な活動は、下館駅の真岡鐵道旧券売所での筑西市のPRや案内、おもてなしです。毎週土日・祝日のSL運行日の下館駅には、市外・県外から多くのお客様さんが訪れます。そのお客様さんに市内のイベントのPRや鉄道の案内などを行っています。おもてなしをしながら気づい



いしぎあきら
石崎顕良隊員（千葉県松戸市出身）
平成29年12月～

●こだますいかをPR

たことは、SL運行日は、鉄道好きのお子さんを連れた家族連れでとてもにぎわっていることです。その子たちとの交流を楽しみながら、筑西市の魅力を伝えていきます。

ゴールドデンウィークには、特に下館駅に多くのお客様さんが訪れます。そこで、このタイミングに旬を迎えるこだますいかをPRするため、下館駅構内で試食と販売を行いました。後日、

こだますいかを試食した人から、「この前は、おいしいすいかがありがとうございました。」と声をかけていただきました。駅でのPRやおもてなしの活動に、手ごたえとやりがいを感じた瞬間でした。

私が考える筑西市の魅力は、下館駅が真岡鐵道のSLもおか号の始発・終着駅であり、3路線が乗り入れるターミナル駅であるということです。鉄道を通じて交流したお客様に、再び筑西市を訪れていただくきっかけづくりを、今後も行っていきたいと思います。



外国人向けの手作り資料



こだますいかの試食・PR



自慢の知識でSLについて説明中



傷つけないように丁寧に作品を計測



釉薬が塗られた陶片を解説



小学生に板谷波山の生家を案内



しのぎたかふみ
篠木崇史隊員（埼玉県熊谷市出身）
平成30年4月～

●文化財などを中心に
4月から「板谷波山を通じた地域おこし」をテーマに掲げ、筑西市の文化や文化財を中心とした地域おこし活動を行っています。
私の主な活動場所は、板谷波山記念館です。来館者に対して、板谷波山という人物や彼の作品についての解説を行っています。また、市内の建築物について興味がある人に対しては、荒川家住宅などの街並みを紹介しています。
最近の活動では、校外学習の小学生に対するギャラリートー

古き良き時代の魅力を発信したい

●とても貴重な体験も
活動を初めてすぐ、筑西市に寄贈された「神林夫妻による板谷波山コレクション」の図録用写真の撮影の場に立ち会うこと

ができました。一般公開に向けた作品の計測や、計測データの確認などとても貴重な体験をさせていただきました。
私が日々過ごす中で感じている筑西市の魅力は、蔵などの古き良き街並みが残っていることと、多くの芸術家が育ち、活動する豊かな文化があるということです。
これからも、このすばらしい魅力を発信していけるように努めていきますので、よろしくお願ひします。

●街歩きマップの作成

駅周辺の商店や市民のみなさんのご協力をいただいで、隊員ならではの視点特徴の街歩きマップ「ようこそ!!SLが走る筑西市へ」を2人で協力して作成しました。

筑西市が誇るSLの特徴や運行についての豆知識、駅を降りてまちなかをめぐりながら土産を買えるように、特産品のひとつである和菓子屋さんを中心にまとめています。
マップは下館駅や板谷波山記念館などで配布していますので、ぜひお手にとり取って市内を歩いてみてください。



下館駅前マップを手にする
石崎隊員（右）と篠木隊員（左）